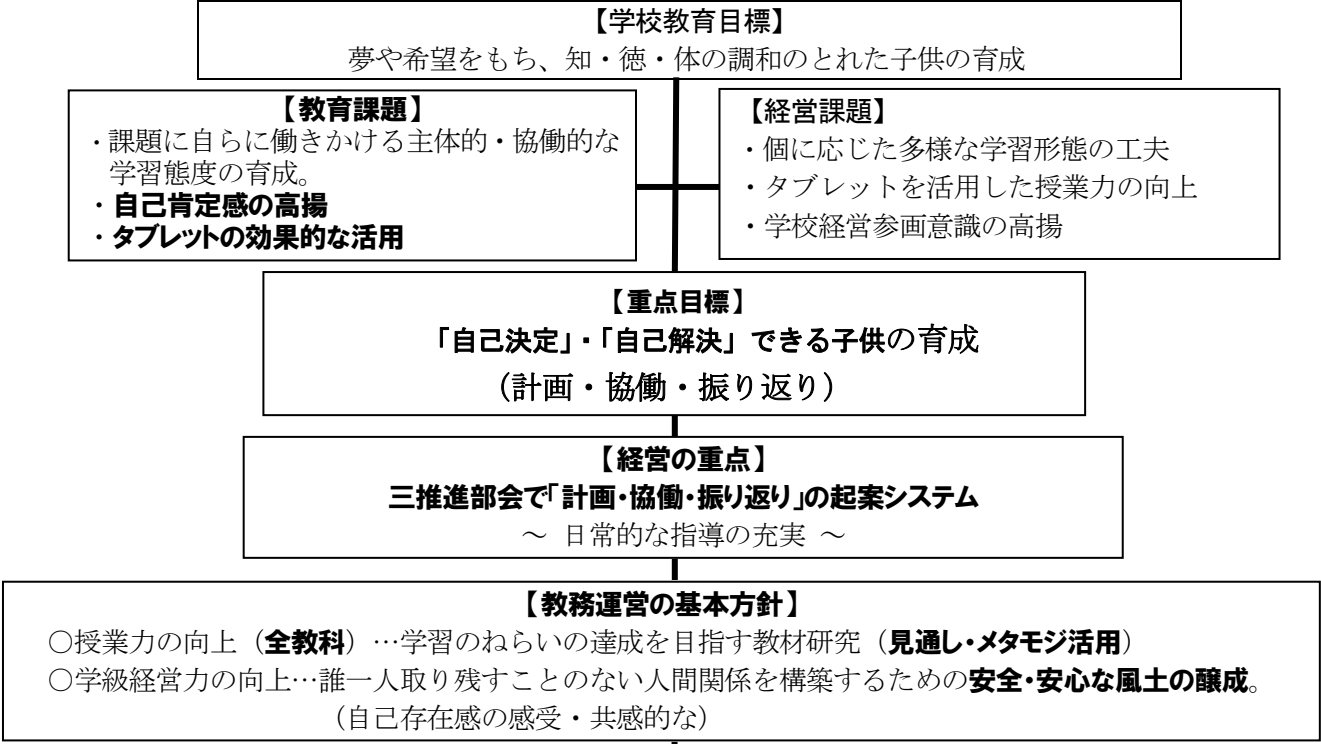


令和7年度 下広川小学校 教務運営構想



組織運営に関すること	教育活動に関すること	教育環境に関すること
■各推進部の機能化 ○三推進部（知・徳・体）の統括 ・マネジメントサイクルの機能化 (年2回のみんなで評価) 〔知〕学力向上推進部会 〔徳〕心の教育推進部会 〔体〕体力向上推進部会 【P：計画】・戦略マップ・シートの活用 【D：協働】・起案・提言の実施 ・OJTの機能化 【C：評価】・取組評価と結果評価 ・学校自己評価への反映 【A：改善】・次年度の計画策定 ■各推進部会の企画・運営及び近接学年会・授業づくり ・授業を計画、実施、評価、改善する力を育成 ・同学年・近接学年での協働 (メンタリングの導入) ・「2週間週案簿」の作成と、見通しをもった授業計画(授業公開)と指導 ・重点項目を週案に明記 ■学級経営力の向上 ・学級経営案の作成と学期末評価と改善 ・教室訪問の実施 ・配慮を要する児童の課題や変容の把握と指導・助言 ・自己他者肯定感アンケートの活用 ・学びたい研修(学級経営) ■地域に開かれた学校づくり ○学校運営協議会との連携 ・学校自己評価との連動 ○PTAとの連携 ・教頭の補佐として ○外部(専門機関)との連携 ・幼保との連携 ・地域人材の活用 ○地域学校協働本部との連携 ・地域学校協働活動会議	■学力向上に向けた教育課程の編成 【指導内容の選択】 →内容の重点化(単元毎に軽重をつける) ・国語科…「読むこと」 ・算数科…「変化と関係」 ・道徳科…「個性の伸長・命の尊さ・努力と強い意志」 ・体育科…「※持久力・筋力」に関する内容 【指導内容の組織】 ・各教科、道徳科、総合的な学習との関連 ・タブレットを活用した家庭学習 (週1回程度の持ち帰り推奨) ・道徳科や学級活動との関連を図る ・共感的人間関係づくり(仲良し班の活用) 【授業時数の配当】 ・国語科、算数科の重点領域に5時間(1から3年)配当する。 ・図書館での読書活動を低学年5時間、 中学年5時間配当する。 ■校内研修の充実 ○学力向上プランの活用 ○主題研修の推進 ・新下広小の約束の共通実践 ○ICT教育の推進 ・タブレットの活用促進 ■豊かな心の推進 ○人権・同和教育の充実 ○道徳教育の充実 (※4月、9月、1月に必ず「命の尊さ」の内容項目を全クラス実施。) ○生徒指導の充実 ・児童の実態や状況の把握 ・いじめ不登校・特別支援対策委員会の統括 ■健やかな体の育成 ○体力向上プランの活用 ・「1校1取組」の実践(すなどけい) ・下広オリリンピック(11月) ・持久走大会、縄跳び大会の実施 ○体育サポーター等との連携 ・週案での確認・連動 ・Webスポーツとの連携(研修実施)	■校内環境の整備 ○教室環境の整備 ・教室環境(モデル)提示 ○共有部分の整備 ・花壇、学級園の整備・充実 ・廊下の掲示物の整備 ■教育課程の管理 ○教務管理システムによる「2週間週案簿」の活用 ・月末時数、学期別時数の集計 ・年間指導計画と照らした進捗の確認及び工夫改善 ・月1回以上の授業公開日確認、及び授業公開一覧表示(職員室の電子黒板) ■組織的・協働的な人的環境 ・習熟度別学習 ・スキルタイムの実施 ・外部講師(ICTサポーター、Webスポーツ、イトマンスイミング、ALT等)との連絡調整 ■家庭・地域との連携 ○基本的生活習慣づくり ・望ましい生活習慣の育成 ○地域の教育資源の活用 ・地域人材との連絡調整 ○働き方改革による連絡体制 ・スクリレによる朝の出欠連絡 ■危機管理体制の確立 ○危機管理マニュアルの策定 ・研修における周知・徹底 ・指導計画への反映 ・薬物乱用防止教室の実施 ・情報モラルの確立 ・非常事態に備えた、柔軟なカリキュラムの運用 ・学校行事の精選 ○スタートカリキュラムの改善 ・「小1プロブレム」解消に向けた、 学校適応の促進(4月4時間授業) ・支援員や講師等による支援